

教室不足調査結果（前回調査比較）

教室不足数			
都道府県	2021年 10月	2019年 5月	増減
大阪府	528	35	493
東京都	514	206	308
千葉県	220	193	27
埼玉県	191	187	4
熊本県	181	243	▲62
神奈川県	161	213	▲52
京都府	115	23	92
福岡県	126	139	▲13
茨城県	107	105	2
北海道	106	112	▲6
合計	3,740	3,162	578

特別支援学校

3740教室が不足

文科省調査 生徒数急増で

文部科学省は1日、全国の公立特別支援学校で、3740の教室が不足していたとする調査結果（2021年10月現在）を発表した。特別支援学校に通う児童生徒が急増したことで、教室や体育館、廊下などを間仕切りしたり、音楽室など特別教室や職員室を転用したりと、一時的な緊急措置で対応している実態が明らかになった。

都道府県を通じ、全国の特別支援学校1096校について調べた。児童生徒の増加に伴い一時的な対応をしている教室の数や、音が漏れるなど授業をすすめる上で支障が生じ、整備が必要と判断している教室や、今後の児童生徒の増加を見越して整備が必要とする教室についても調べた。

文科省は19年5月時点でも、同様の調査を実施している。当時の「教室不足」は熊本県の243、東京都の206など合計3162室だった。これに対し神奈川県で52室減少になるなど一部の自治体で増加がみられたものの、今回の調査では578教室増えて、数字の上では「悪化」したことになる。しかし、不足数が急増した自治体の中には、カウントの仕方を変更したところもあり、前回との単

純比較は難しいとみられている。

文科省は教室不足の解消に向け、新增築等の施設整備に対し、優先的に国庫補助を行っている。また、廃校舎など既存施設を特別支援学校に転用、改修する事業について、20年

度から24年度までの集中取り組み期間に国庫補助率を3分の1から、2分の1に引き上げるとともに、各自治体の特別支援学校設置者に対し、教室不足の解消に向けた取り組みを集中的に行うよう要請している。（澤晴夫）